

# 令和4年度神戸市各会計予算及び関連議案に対する

## 各会派の意見表明

### [自由民主党]

自由民主党神戸市会議員団は、令和4年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計52議案について、以下の理由により要望21件を付して承認します。また、「予算第1号議案 令和4年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、反対します。

#### 理由

令和4年度予算案は、コロナ後を見据えた神戸の持続的発展を目指し、コロナによる社会の変革およびコロナ前から神戸市が抱えていた課題を精査し、これからの神戸が進むべき指針を示したものとなっています。またその柱としてテーマが体系的にまとめられ、従来の費目別ではなく行政課題に沿ったものとなっている点も評価します。市民の安心安全を守り、地域コミュニティを育てるという土壌なくして住みよいまちづくりの実現は無く、そのために公が担うべき領分をしっかりと定めて取り組む姿勢は大切と考えます。

また都市経営を考えたときに必要な基盤を整えるうえで、必要な範囲内で民間の力を生かし、さらなる投資を呼び込むための施策を推進していただきたいと思います。

一方、長引く新型コロナウイルスへの対応については、引き続き市民の命と健康を第一に捉え、全庁一丸となってあらゆる策を講じ、緊急に必要な補正予算案や関連議案等は早急に上程され、一日も早い終息と日常の回復を図られたいと思います。

また、これまでの行財政改革により、財政健全化指標は着実に改善しているものの、少子超高齢化の進展に伴う社会保障費の増大は避けられず、将来世代に負担を残さないためにも「神戸市行財政改革2025」の完遂に向けて全力で取り組み、安定的な財政基盤を構築していくことを期待し、令和4年度神戸市各会計予算案並びに関連議案を承認します。

#### 要望事項

1. 代表電話や総合コールセンターなど、市民が市政にアクセスする最初の窓口であるオペレーターや対応職員の一部により、市民に寄り添わない対応が行われている実態を早急に改善すること。
2. 地域コミュニティ施策の推進については、持続可能な運営のために有償ボランティア制度を導入すること。
3. 王子公園再整備については、市民意見を踏まえ、素案が市民理解を得られるもの

にすること。

4. フィギュアスケートをはじめ、オリンピックなど、国際大会で活躍するアスリートが地元神戸で練習時間を充分とれるよう環境整備に配慮すること。
5. 高齢者施設等の入所者のコロナ陽性者を速やかに医療につなげるよう努めること。
6. 人口減少対策については、子育て支援に注力し、特に区役所の現場と連携して、有効な子育て支援を実施すること。
7. ママフレリニューアルについては、区役所とも連携し、子育て世帯に民間情報を含めて充実した情報配信ができるよう対応すること。
8. 児童虐待の相談件数が毎年10%ずつ増加している。「神戸市こどもを虐待から守る条例」を尊重し、重ねて努力すること。
9. 瀬戸内海の富栄養化に関しては、瀬戸内海のみならず大阪湾全体として広域的に進める必要があるため、県市協調して関係機関に働きかけること。
10. 市内に多数現存している老朽化した大型道路標識について、深刻な事故・被害を防ぐためにも、建替更新を加速化させること。
11. 磯上公園については、芝生化などを行った少年用のサッカーグラウンド機能を存続させること。
12. 多井畑西地区の里山活動を促進するため、須磨多聞線多井畑西地区の一部事業化を検討すること。
13. 県市協調の市街地再開発事業については、県の責務として県に補助金の継続を積極的に働きかけていくこと。
14. 市内中小事業者の事業立地の確保や、里山農村エリアへの移住定住促進のため、市街化調整区域の区域区分の見直しのほか、既存建物の活用範囲の拡大、里づくり計画でできる行為の拡大など、開発許可制度の柔軟な運用を行うこと。
15. 神戸電鉄西鈴蘭台駅の再開発については、長田箕谷線と接する立地を活かし、有料道路方式による大規模なパークアンドライド駐車場や神戸電鉄以外の民間資本も活用し、地域の活性化に資する規模感のある再開発にすること。
16. 北区谷上地域の区画整理については、谷上駅前のみならず谷上地域全体の発展に寄与する街づくりとすること。
17. 廃止が決まった市営住宅の跡地利用については、速やかに方針を示し、近隣住民に不安や誤解を与えないよう努めること。
18. 市営住宅の単身高齢住民を取り巻くリスク低減のため、高齢者同士の同居など、目的外使用を多様に認める制度を検討すること。
19. 公営企業会計において、国際情勢等、不測の事態による燃料費の高騰によって発生する費用の一部または全部を一般会計からの補填も含め手当てすること。
20. コロナ禍における学校行事については、子供の成長に必要な経験であることから、中止や自粛ではなく、実施を前提として立案すること。
21. 義務教育課程の基礎学力の修得については、修得状況に差があることから、必要な指導が完了したとみなされてから卒業させるようにすること。

## [公明党]

公明党神戸市議員団は、令和4年度神戸市各会計予算案及び関連議案に対して要望7件を付し、承認いたします。なお、「予算第1号議案 令和4年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については反対いたします。

### 理由

令和4年度予算案は、喫緊の課題である、感染拡大の防止と医療提供体制の安定確保、市民生活・経済活動の維持・回復に最優先で取り組み、三宮再整備や市内主要駅周辺のリニューアル、デジタル技術の積極導入、外部人材の活用などに努めるとともに、公明党議員団が訴えてきた生活困窮者や社会的孤立状態の方への支援策の拡大、ヤングケアラーへのヘルパー派遣、乳がん検診における「高濃度乳房」の通知、こども家庭センターの体制強化、認知症対策の拡充など、庶民の暮らしを守る多くの施策を実現されたことは、大いに評価しています。

今後、この取り組みを円滑に進めていくために「市民の参画と協働」、「コンプライアンス」及び「職員の創意工夫の発揮」に特段の配慮を求めるものです。

以上の要望と以下個別の要望事項7件を付記して、予算案及び関連議案について賛成いたします。

### 要望事項

1. 3回目のワクチン接種について更なる円滑接種の推進に努めること。
2. 5歳から11歳の子ども接種についてメリット、デメリットを十分説明し不安解消に努めること。
3. 視覚障がい者のロービジョンケアの普及啓発に努めること。
4. 「KOBE そなえとう」など多岐にわたる公的防災用アプリを集約し、より利便性の高いアプリとして一本化すると共に、アプリへのアクセス集中によるサーバーダウンの防止対策を講じること。
5. クリーンステーションの増設が必要な場合、合意を地域任せにせず当局が入り合意形成の支援をすること。
6. 学級閉鎖などで休んだ子ども達の学習の遅れがないよう習熟度の低い子供については十分なケアを行うこと。
7. 王子公園再整備計画については以下の点を留意し進めること。
  - ①大学誘致により追求する地元メリットを明らかにすること。
  - ②「アメリカンフットボールの聖地」の意義と廃止する施設・サービスの比較衡量を行うこと。
  - ③動物園リニューアルの方針を示すこと。
  - ④以上の検討を行うため関係者によるワークショップを設けること。

## 〔日本維新の会〕

日本維新の会神戸市議員団は、令和4年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計52議案について、以下の理由により要望23件を付して承認いたします。また、予算第1号議案「令和4年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議」に関しては、反対いたします。

### 理由

感染拡大の波が繰り返され、いまだ予断を許さない新型コロナウイルス感染症に対して、市民の皆様の命と健康を守り、神戸経済を回復させるため、神戸市職員が尽力されていることに敬意を表します。

令和4年度予算では限られた財源の中、感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保や市民生活・経済活動の維持・回復を優先的に組まれた事に関して、一定の評価をいたします。

ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、本市は産官学の連携を一層深め、従来の手法や発想に捉われず、先端テクノロジーを積極的に活用しながら神戸の成長と市民サービスの拡充を実現していかなければなりません。また将来世代が過度な負担を背負うことがないよう財政の健全性を維持し、より効率的・効果的な財政運営を行う必要があります。

誰もが学び、働き、子育てをし、住み続けるまちとして神戸が選択されるよう市民目線に立った施策を推進しながら、「行財政改革方針2025」を基に、さらなる改革をこれまで以上の決意とスピード感を持って実行することを期待し、令和4年度各会計予算案ならびに関連議案を承認いたします。

### 要望事項

1. 災害時における情報収集・分析の手段として、SNSの積極的な活用を図り、市民に対する避難指示や、被災者への支援等に関し、より効果的に繋げることが出来る体制に強化しておくこと。
2. 外郭団体に関しては、民間で行い得る事業は民間で行い、団体のミッションを明確にし、評価・検証することにより役目を終えた団体に関しては整理統合を行うこと。
3. 王子公園再整備基本方針については、市民・利用者の意見を十分に考慮のうえ、柔軟に素案を見直し、より少ない財政負担で最大限のポテンシャルを発揮し得る持続可能な都市公園の再整備を進めること。
4. DXの推進により市役所の組織風土を変革しつつ、行政手続きのオンライン化や、リモート相談窓口など市民や事業者が区役所に来庁せずに済む環境作りの拡充など、市民の視点に立った行政サービスの向上を図ること。
5. 新産業の育成、集積については、アンカー神戸と協議しながら、中国・四国地方

- を含む西日本エリアなど神戸経済圏以外の地域の人々との交流によるイノベーションの創出、企業誘致の推進を図ること。
6. 未収金対策として財源確保に加え、受益と負担の公正性が担保されるよう収納対策を徹底し、適正な債権管理に取り組むこと。
  7. 女性職員の活躍施策を全庁横断的に推進し、課長級以上の職員の数値目標を着実に達成していく取り組みを継続し、民間人材の登用をより積極的に行うこと。
  8. ポートアイランドスポーツセンターの再整備は、PFIの導入・電力のカーボンニュートラル化・ランニングコストの低減を図り、フィギュアスケートの拠点や選手育成として通年型スケートリンク化を検討していくこと。
  9. あんしんすこやかセンターや地域の自治会、老人会などと連携しながら、介護予防・フレイル対策の一体的な実施を推進していくこと。また、外出しやすい仕掛け作りを他部局、民間などと連携して実施すること。
  10. 児童養護施設を退所した児童の状況を把握し、退所後のアフターケアの拡充と体制を構築すること。また自立に向けた支援として、家賃負担や保証人確保等の面で住宅の確保が難しいことから、一定期間、市営住宅の空き部屋を活用した居住支援を行うこと。
  11. 家庭の経済状況による教育格差の是正と、子育て世帯の負担軽減を図る塾代助成事業を実現するための制度設計や環境整備を進めていくこと。
  12. 出産費用や妊婦健康診査の補助、高齢出産や低出生体重児のためのケアを拡充すること。
  13. 2050年カーボンニュートラルを達成するために、神戸市として目標達成に向けた地球温暖化防止実行計画を抜本的に見直すこと。
  14. 都市公園については、アーバンスポーツ施設の環境整備を検討し、官民連携のう え、民間のノウハウを積極的に取り入れた取り組みを行うこと。
  15. 2025年に開催される大阪・関西万博の企画・運営に積極的に関わり、市内事業者への受注機会の確保をはじめ、神戸経済の活性化に繋がる取り組みを推進すること。
  16. 神戸空港の国際化については、関西3空港懇談会での協議を踏まえ、CIQ(税関・出入国管理・検疫)体制の拡充、フライトプラン届出期間等の規制緩和を行い、関西3空港の最適活用を図りながら、関西全体の空港需要拡大を目指すこと。
  17. 水道事業はスマートメーターの全戸導入や、最先端技術を活用した施設維持管理、またICT利活用による業務の効率化など経営健全化を推進し、安全・良質な水を安定的に公正な料金で提供する取り組みを継続していくこと。
  18. 地下鉄・バスの減便やダイヤ改正など市民に負担を求めるのであれば、まずは交通局においても効率的な運行体系の構築や、休暇取得の平準化、勤務体制の見直しなど徹底した経費削減による経営改革・業務改善を図ること。
  19. 公共交通の空白地域の解消のため、鉄道や路線バス、AIを活用したオンデマンド交通の導入も含めた地域コミュニティ交通等を適切に組み合わせ、地域の実情に応

じた交通ネットワークを構築していくこと。また持続可能な移動手段を確保し維持するため、運行事業への参画や啓発など地域住民の利用促進に努めること。

20. 学びの保障の観点から授業ライブ配信とともに、様々な手法を組み合わせた双方向型授業を円滑に行うことができる体制を早期に構築すること。またオンラインによる面談や学習支援など、学校現場の状況やニーズに合った柔軟な対応をできる限り行うこと。
21. 中学校給食全員喫食制への移行までの間、保温食缶を活用し、できるだけ頻度を増やし多くの中学校で実施すること。また民間デリバリーや親子方式については調査・検討を早急に進め、給食センターの供用開始を待たず、可能な手法は前倒して実施していくこと。
22. ICTの導入を促進させるうえで、児童生徒や教員へのSNSを含めたセキュリティ教育や情報モラル教育を徹底すること。
23. 業務の適正かつ効果的な執行を確保するため、教育委員会ならびに外郭団体も含めた全庁において、外部監査・内部監査・内部統制により指摘・意見された事項は速やかに改善すること。

## **[日本共産党]**

令和4年度神戸市各会計予算案について、予算第1号議案、予算第4号議案、予算第10号議案、予算第15号議案について、必要な編成替えを行うことを求める動議を提出しており、この動議に賛成いたします。

予算第3号議案、予算第5号議案から予算第7号議案、予算第12号議案及び予算第19号議案の6議案並びに予算関連議案のうち、第6号議案、第7号議案、第9号議案、第10号議案、第15号議案、第18号議案、第21号議案から第23号議案、第28号議案から第31号議案、第33号議案の14議案、合計20議案については賛成します。

予算第2号議案、予算第8号議案、予算第9号議案、予算第11号議案、予算第13号議案、予算第14号議案、予算第16号議案から予算第18号議案の9議案並びに予算関連議案のうち、第1号議案から第5号議案、第8号議案、第11号議案から第14号議案、第16号議案、第17号議案、第19号議案、第20号議案、第24号議案から第27号議案、第32号議案の19議案、合計28議案については反対します。

なお、予算組み替え動議が否決された場合は、予算第1号議案、予算第4号議案、予算第10号議案、予算第15号議案には反対します。

## **理由**

第1の理由は、コロナ禍のもとで市民の命と暮らしを守るものになっていないからです。

神戸市は、新型コロナウイルス感染症対策において、自宅療養者への健康観察を原

則中止し、濃厚接触者や、学校・保育園の健康観察者への検査を中止するなど対策を弱め、感染拡大に拍車をかけました。医師・保健師の増員、PCR検査体制の強化に背を向けています。

苦しむ事業者への直接支援についても、「国・県の取り組みによって一定の支援がなされている」などとして、新たな独自支援を拒み続けています。

第2の理由は、社会保障を拡充し、子育て・教育の負担を軽減するものになっていないからです。

国民健康保険料を値上げし、介護保険料負担軽減の願いに背を向けています。また他都市に例のない住民税超過課税も継続させています。一方で、選挙公約であったことも医療費の無料化については、いまだに実現していません。少人数学級の前倒し実施や、自校調理による中学校給食実現についても背を向けています。

第3の理由は、公共の施設を統廃合し、公務労働を低賃金と非正規・民間委託に置き換え、公的責任を後退させているからです。

行財政改革方針2025にもとづき、低賃金非正規の任期付き職員や民間委託を進め、さらに学校・消防・水道・区役所などで116人もの職員を削減しようとしています。

公共施設等総合管理計画にもとづき、王子公園のスポーツ施設の廃止や、小中学校のプールや給食室の廃止、市営住宅の削減など、市民の財産である公共施設の削減を進めています。

第4の理由は、大型開発・呼び込み施策に偏重し、いま神戸で住み働いている市民や事業者の願いに応えていないからです。

都心・三宮の再整備に178億円、大阪湾岸道路西伸事業に42億円、国際コンテナ戦略港湾に107億円などコロナ以前の大型開発を強行しています。王子公園再整備・駅前再開発・新たな産業団地など、過大な経済効果をうたい、呼び込み施策に偏重しています。

第5の理由は、気候危機打開やジェンダー平等の実現に積極的に取り組む姿勢が無いからです。

脱炭素社会を掲げながら神戸製鋼が進める石炭火力発電所の停止を求めようとしません。

ジェンダー平等を正面から掲げることもせず、働く女性の待遇改善、市バスや地下鉄での痴漢防止、パートナーシップ制度導入など積極的な姿勢はありません。

市長は、市場原理に委ねて、公的な役割を大きく後退させる「新自由主義的な政策」を推進しながら、そのことへの自覚も反省もありません。基礎自治体の役割は「住民福祉の増進」です。国の言いなりではなく、国の悪政の防波堤の役割を果たすことが求められています。

また、日本共産党市会議員団が提案した予算の編成替えを求める動議は、市長提案の予算から三宮再整備や、大阪湾岸道路西伸事業などの大型開発等不要不急の施策を削減するとともに、財政調整基金を活用することで財源対策を行っています。それによりコロナの影響で苦闘する中小企業、医療機関への支援や市民の暮らし応援、35

人学級の小中学校での実施や、子どもの医療費の無料化など市民の願いに応える提案となっていることを申し添えておきます。

## **[立憲民主党]**

立憲民主党神戸市会議員団は、令和4年度当初予算案並びに関連議案合計52議案について、要望11件を付して原案のとおり承認いたします。

また、「予算第1号議案 令和4年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議には、原案を承認するため反対いたします。

### **理由**

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の市民生活や神戸経済への影響が依然大きく、第6波も罹患者が高止まりとなっています。このような中、令和4年度当初予算案は、市税収入総額が3年ぶりに増加し、前年度比169億円増の3,083億円となりました。投資的経費が892億円確保され、コロナ後を見据えた神戸のまちづくりが加速しています。そして、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、福祉・教育を含む人への投資にも予算が確保されたことを評価いたします。

その一方で、扶助費が前年度比29億円増の2,313億円と年々増加しているなど、コロナ禍以前からの課題であった超高齢社会への対策、神戸の人口減少が止まらない状況が続いています。今後も神戸経済の発展につながる施策に取り組み、選ばれるまち神戸として、神戸市民が安心安全に暮らせる持続可能なまちづくりに全力で取り組まれるよう要望し、令和4年度当初予算案並びに関連議案を承認いたします。

### **要望事項**

1. 地域連携プラットフォームを早期に構築し、複雑・多様化する政策課題の解決に向けて取り組まれない。
2. 神戸のまちの回遊性向上と魅力創出に向けて、新たなモビリティの活用に取り組まれない。
3. ウォーターフロントの回遊性向上のため、ロープウェイを導入されたい。
4. 王子公園の再整備は市民意見をふまえて見直すと共に、今後はまちの再整備計画などに丁寧に取り組まれない。
5. 東灘体育館をはじめ、老朽化が進む施設については、計画的に整備を進められたい。
6. LGBTQなど性の多様性への取り組み強化のため、専門担当者の配置など必要な体制を本気で整えられたい。
7. こども・若者ケアラーへの支援については、当事者からの相談が増える取り組みを強化されたい。
8. 長期休業中の学童保育における昼食サービスを導入されたい。

9. インクルーシブ公園を計画的に整備されたい。
10. ポートループの新神戸駅から神戸駅までの延伸に向けた条件整備に努められたい。
11. 学校園における年度途中の教員欠員に対して補充に努められたい。

## **[つなぐ]**

つなぐ神戸市議員団は、令和4年度神戸市各会計予算および関連議案のうち、予算第1号議案、予算第4号議案、予算第18号議案、以上、予算3議案について、下記の理由から反対します。

また、「予算第1号議案 令和4年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、評価できるものも多いが、いくつかの項目で考え方などに違いがあるため反対します。また、その他の議案については賛成いたします。

## **理由**

反対する主な理由は次の通りです。

1. 三宮再整備において、経済効果の前提となる事業費について、令和2年6月公表の全体事業費7,440億円の内、民間事業費が6,360億円と8割以上を占めるが、都心部オフィス需要の減少が見込まれるなど新型コロナの影響や、不透明な今後の社会経済情勢も踏まえる必要があるにもかかわらず、経済効果の推計を見直さないため。
2. 王子公園再整備基本方針（素案）に対し、疑問や反対の多くのパブリックコメントが寄せられ、また議会でも見直しの議論が出る中、基本方針（素案）の一定の見直しを検討するとしているが、見直しは「大学誘致ありき」が前提になっているため。
3. 区役所窓口民間委託問題で、市民の待ち時間が長くなったり、業務に慣れない派遣の人の退職が相次ぎ、市民サービスの低下を招くなど、多くの課題が明らかになっている中、改善の見通しもないまま、市民課や保険年金医療課の業務委託を全区に広げようとしているため。
4. 国民健康保険事業において、一般会計からの法定外繰り入れを全く行わず、社会保険との格差を是正して払いやすい保険料にしていなかったため。
5. 水道事業において、市内5センターや本庁などの再編に伴い、水道料金関係業務の民間委託や集約、配水管等工事関係業務の再編、本庁機能の移転などで、職員への負担増加や、市民サービスの低下を招こうとしているため。

## **[国民民主党・友愛]**

国民民主党・友愛神戸市議員団は、令和4年度神戸市各会計当初予算（案）、及び関連議案合計52件を下記理由及び要望10件を付して承認いたします。

また、「予算第1号議案 令和4年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議は、原案を承認するため反対いたします。

## 理由

令和4年度予算（案）は、令和3年度補正と一体的に切れ目なく、感染拡大防止、医療提供体制の安定的確保、コロナ禍に直面する市民・市内事業者への支援等をはじめ、コロナ禍において市民の生命を守ることを最重点に、市民生活・経済活動の維持・回復を最優先に取り組むとしており、大いに期待しています。

一方で、ウクライナ危機で揺れる世界経済、ひいては日本経済が大きく打撃を受けることは必至の状況です。市民負担の増加は避けられません。そして、ロシアのウクライナへの侵略は、断じて容認できません。

この様な状況の中、本市においては、人口減少、少子超高齢社会、東京一極集中といった社会経済情勢の変化による新たな課題にも直面しています。

厳しい状況ではありますが、「まちの質」・「くらしの質」を高める施策を強化し、「コロナとのたたかいに打ち克つ」、「温もりのある地域社会を創る」等7つの柱に沿って、市民の命と健康を守り、with コロナ時代、更にポストコロナ時代に対応した施策を積極的に展開しようとしていることを評価します。

3回目のワクチン接種も進む中、収束に向けて引き続き医療体制の充実を図り、打撃を受けた神戸経済の立て直しに全力を注ぐとともに、残された課題の解決に向けてスピード感を持って取り組んでいかれることを期待して、令和4年度予算（案）並びに関連議案を承認いたします。

## 要望事項

1. 住み慣れた地域において、医療と介護の切れ目ない提供体制を構築されたい。
2. こども家庭センターにおける、児童福祉司等約20名の増員に伴い、相談体制の充実に努められたい。
3. コロナ禍の児童生徒の学力向上に向けて、中長期的な視野で取り組まれたい。
4. 信号機のない横断歩道における安全対策に努められたい。
5. 委託契約事務の適正な事務執行に向けて、制度・仕組みの整備とともに内部統制機能の充実を図られたい。
6. パーソナルデータの取り扱いについては、市民理解が得られるよう取り組まれたい。
7. 交通局における付帯事業収入の確保について、民間鉄道事業者のような事業スキームに転換し、儲かる仕組みを構築されたい。
8. 多井畑西地区の活用については、地元地権者の声も聴きながら、広大な土地を有効活用し、里山保全とマッチした新たな活用策も検討されたい。
9. 活用が進まない駅前の一等地の空地について、空家おこし協力隊の力も借りて地域の活性化につながる空地の活用に取り組まれたい。

10. 王子公園再整備に関しては、市民意見も取り入れながら素案の見直しも含めて検討されたい。

## **[共創・国民民主]**

共創・国民民主神戸市議員団は、令和4年度各会計予算案及び関連議案、合計52件を以下の理由により、要望8件を付して、承認します。また、予算第1号議案等の編成替えを求める動議については反対します。

### **理由**

令和4年度の神戸市一般会計において、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大防止と医療供給体制の安定的確保に軸足を置きつつ、市民生活および行政サービスの維持向上に配慮した予算案であることを評価します。

しかしながら、新たな経費負担増により財政状況は予断を許さない状況であることから、大胆な行政改革および事業見直しを継続的に行うことが必須であります。

改めて、人口減少・超高齢化社会に対応した魅力ある施策展開を行うと同時に、市民が誇りを持てる社会福祉施策の一層の充実等を期待いたします。

### **要望事項**

1. 大学誘致の是非を中心とした王子公園再整備案のとりまとめに向けて、ワークショップの活用などあらゆる方策を用いて、将来に禍根を残さない成案の提示に努めること。
2. 新型コロナウイルス感染症対策として、新たな変異株に対応できるよう、ワクチン接種、治療薬、医療体制等に万全を期すこと。
3. 市民相談室の一層の有効活用のため、市民の抱える法律問題により深く踏み込み、具体的な解決策を導けるよう改善を図ること。
4. 生活支援の各種申請をオンライン化することにより、孤立する若者やひとり親家庭等を効果的に支援策に結び付けていくこと。
5. 先進事例を取り入れながら、多拠点型移住者も視野に空き家を積極的に活用した移住施策を進めること。
6. 鉄道駅舎等のバリアフリー化については、乗降客数3000人未満でも事業者と調整の上順次その整備に取り組むこと。
7. 公園不足が指摘されている摩耶小学校区においては、公園用地の確保に努めるとともに、暫定的な公園機能を有するスペースとして摩耶小学校のグランド開放などを検討すること。
8. 神鉄粟生線押部谷地域活性化のため、並行する神戸三木線沿道に開発可能なエリアを設定し、利便施設の誘致を実現できるよう制度を検討すること。

## **[平野（章）委員]**

令和4年度神戸市各会計予算案並びに関連議案合計52議案について、承認します。  
また、「予算第1号議案 令和4年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議については、反対します。

## **[松本（し）委員]**

令和4年度神戸市各会計予算並びに関連議案合計52議案については、要望7件を付して以下の理由により承認いたします。

又、「予算第1号議案 令和4年度神戸市一般会計予算」等の編成替えを求める動議につきましては、原案を承認するため反対をします。

### **理由**

令和4年度予算は、経済回復・新型コロナウイルス感染拡大防止対策・ワクチン接種対策等々、医療提供体制の支援強化をはじめ、社会保障関係費の増大など神戸市財政状況は一層厳しく今後も予断を許さない状況となっております。

今後とも人口減少・少子超高齢化社会でのグローバルな都市間競争に対応できる都市として、本市の7つの柱に沿った重点施策に期待し、予算については認定し関連議案については承認します。

### **要望事項**

1. コロナ禍での阪神国際コンテナ戦略港湾をはじめ、神戸港関連事業者への支援施策の拡大による、集貨・創貨・競争力強化に一層努力されたい。
2. 「神戸港将来構想」において、須磨海岸エリアは滞在型リゾートエリアと位置づけており、「須磨海釣り公園」を改修し海洋スポーツエリアとしての視野も含め、官民連携による早期のリニューアルオープンを図り活性化を図られたい。
3. 神戸市中央卸売市場の再整備に於ける西側敷地の冷蔵庫移転に伴う、動線課題については、安全安心でスピーディーな動線となる港湾用地を活用され、次世代を担うグローバルな市場間競争に対応出来る神戸中央卸売市場とするよう取り組まれたい。
4. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、多くの子供たちのスポーツ活動や発表する場が失われている。ウィズコロナ時代においては青少年へのスポーツ振興や競技力の向上のため施設使用料の更なる使用料の減免拡大を図られたい。
5. 保育人材確保については、保育士不足の観点から、現況の給与等の待遇改善を周知し、従来の人材センター等への登録者に加え、潜在保育士への一層の取り組みを図るなど、保育士の確保に努められたい。
6. 外国人介護人材確保対策として、初任者研修補助の参加要件に即戦力となる日本

語検定N3以上の方への人材投資となるよう取り組まれない。

7. 再犯防止対策として神戸保護観察所や兵庫県を含めた刑事機関との連携による情報共有を図る仕組みを早急に構築されたい。

## **[上原委員]**

令和4年度神戸市各会計予算及び関連議案合計52件を下記の理由及び要望10件を付して、承認いたします。

また、予算第1号議案令和4年度神戸市一般会計予算等の編成替えを求める動議については予算承認のため反対いたします。

### **理由**

令和4年度予算は、行財政改革方針2025実現に向けて着実に事業の見直しを進めていること、また、15億円という少ない交付見込みの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の有効利用の工夫が見られること。ただ、市税収入が3年ぶりに増加したといっても、新型コロナウイルス感染症がオミクロンという新株の出現により、感染者数はこれまでと比較できない程拡大している中で、固定資産税をはじめ税の減免や社会保険料などのコロナによる猶予措置の終了、借入金の返済開始、さらには燃料費の高騰により、その影響を受ける市内事業者はコロナ禍で最も過酷な経営状況となっています。また、同じく通常の学校生活を制限されている子ども達のストレスを鑑み、以下要望いたします。

### **要望事項**

1. 新型コロナウイルスの影響で困窮する市内事業者の声を聴く機会を拡充し、資金調達や雇用確保など、的確な支援に直結する一歩踏み込んだ施策を実施すること。また、兵庫県保証協会には貸し渋りにより市内事業者の事業継続を妨げないように強く働きかけること。
2. 委託・指定管理・入札等の市内事業者選定を推進し、さらなる経済の市内循環に努めること。また、なれあい発注を撲滅し、新規事業者が応募しやすい公募制度・広報に努めること。
3. 事業の広報は、例えば飲食店ならグルメサイトへの広告を利用するなど、支援する事業者の声を聴き、最適な媒体を用いることで、費用対効果を最大にした認知度向上に努めること。
4. 三宮駅周辺での客引き・勧誘行為及びそれに伴う公道に立つ行為も含めて、通行人への迷惑防止と景観の観点から、撲滅に向けて取締りを強化すること。
5. ウォーターフロントの夜間景観形成、須磨海岸へのフォトジェニックスポットの設置等、魅力向上に努めること。
6. 有害鳥獣対策について、被害農家の意見を聴取し、実情に即したさらなる支援の

拡充に努めること。

7. 子ども達の課外活動や行事を可能な限り実施する努力をすること。また、子ども達のストレスに寄り添い、発散できる場を創出する様に努めること。
8. 校則見直しは、「こどもの人権」を前提に、子ども達に自分で考え行動する「生きる力」を育むための教育のもと、安全な学校生活の為に必要最低限のルールを制定するという観点で実施すること。また、教員・子ども達への良質な人権教育を進めること。
9. 中学校給食の全員喫食に先立ち、早期に美味しく・温かく提供できる学校が多くなる様、最大限取り組むこと。
10. 市バス事業の収支改善は、さらなる人件費削減に努め、利用者の不便に繋がる減便に依らない効率化に努めること。地域の実情に応じた規模の交通手段への転換を進めるとともに、需要に応じた最終便延長など、既得権に囚われず客観的視点に立ち、早期実現を講じること。

## **[村上委員]**

令和4年度神戸市各会計予算案及び関連議案に対し、下記の理由及び要望事項3件を付して承認致します。原案を承認することから、予算第1号議案等の編成替えを求める動議については反対致します。

### **理由**

令和4年度神戸市各会計予算案は、新型コロナウイルス感染症対策及びその影響に対して最優先で取り組む一方で、本市の持続的な発展に資する積極的な投資が盛り込まれた意欲的な予算案であると評価致します。

以上の理由から、令和4年度神戸市各会計予算案及び関連議案を承認致します。

### **要望事項**

1. 区役所の業務委託については、その委託範囲について徒に経路依存に陥ることなく、常に利用者の声や職員の声に耳を傾け、適宜適切に柔軟な見直しをされ、区役所サービスの質の担保に努められたい。
2. 小学校のプール開放事業を民間等のプール利用券配布に全面的に切り替えることについては、プール利用券の配布の選択肢を提示した上で、担い手である地域の方・保護者の方・児童の三者で継続について合意が取れる場合には、学校プールの開放を認めるなどの選択肢を残されたい。
3. 神戸駅北側広場のぼい捨て防止対策については、「ぼい捨て防止重点区域」の適用を含めて、地元地域の機運を喚起し、さらなる対策の強化を検討されたい。